

【文学・文化学】『20世紀初頭のロンドンと日本人』

- 英語力はもちろん、国語力、歴史をどれだけ把握しているかによって授業のやりがいや楽しさが変わってくると思った。だから、しっかりと学びの基礎ができるように今から勉強をして知識を積み重ねたいと思った。
- 模擬授業では、自分が知らなかった内容のことを学ぶことができた。その中でも特に、日本ブームがあったということに驚いた。日本とヨーロッパの違い、そこからロンドンで「日本人村」が建設されたこと、「ミカド」が初演され大ヒットしたこと、さまざまな場面や物で日本が取り入れられたことが印象的だった。また、世界の中で日本のイメージがどのように形成されたか、日本とヨーロッパを比較したように、今後の学習でもいくつかの事を比較して考えられるようにしたいと思った。
- 比較文化によって日本が外国からどう見られているかというところから日本が今後どうあってほしいかが見えてくることを学べたと思います。これからは他者から見た視点を大切にしていきたいと思った。

【心理学】『モチベーションの心理学』

- 心理というのは、自分自身の考えを変えると良い方に持っていけるのではないかと思っていましたが、他者の発言・行動や環境で変わるとこの授業で学んだ。私が一番悩んでいた、モチベーションが上がるためにはどうすればいいか学べてとても嬉しかった。モチベーションはやらされているという気持ちを持たず、興味や好奇心といった自分の意思で高めることができるようになった。今回の話を聞いて楽しかったのでまた話を聞きたいと思った。
- 自身のモチベーションは、自分だけが定める、自分だけが判断できるものだと思っていたが、実は環境によって変化したり、自分でも判断が難しかったりする場合があることを初めて知った。模擬授業で得た知識を活かして、効率よく「モチベーション」を利用できるように努めていきたい。今回の講義を受けて、心理学をさらに学びたいという気持ちが強まった。また、講義内で触れた別の分野にも興味が持てた。
- モチベーションが高すぎると良い結果が出ないこと、自らの意思で納得して自律的に取り組むと良い結果が出やすいことを学んだ。自分が取り組んでいる課題の楽しさや大切さを見つけて学習へのモチベーションを高めたいと思う。また、大きな目標を一つだけ立てるのではなく、小さな目標をたくさん立てて学習への手応えや達成感を感じられるようにしていきたい。

【語学・国際関係】『The double meanings of words in English cultures』

- 物事を多方面から見て考えることの大切さに気づき、また、相手により伝わりやすい方法で説明していきたいと感じさせられる時間だった。自分の考えを自分の言葉によって思いを届ける(=言語化)していこうと思った。
- 1つのフレーズに対してどんな意味が込められているのかを追求することの面白さを初めて学べた。言葉を多方面から考えることで言葉にいくつもの姿があることがわかった。これからの生活でも言葉が持つ意味を大切に、また他人と言葉のイメージがっていることを確認しながら生活したい。そうすれば、いつも周りにいる人とももっと近い存在に慣れるだろうし、世界の人ともより仲の良い存在に近づけるだろうと思う。
- 同じ意味を持つことわざでも、国や地域によってたくさんの言い回しがあるのがとても面白かった。英語でのことわざをどのように表現すれば伝わるかをグループのみんなで話し合えてよかった。すぐに答えを見るのではなく自分なりに考えることで答えの理解がさらに深まったので、普段の勉強でも答えを見る前にしっかりと自分で考えていきたい。

【経済学・経営学】『マーケティング・地域の課題解決について』

- 経済を動かすためには、その地域についてよく知っていることが大事だと初めて知った。私たちが相手にする年齢層や地域によって、何をアピールすることが大切で、それがその人たちにどのような影響を与えるのかがわかった。今後は地域についてのニュースを積極的に見て、地域についてよく知り、どのようなことがその地域に効果的なのか考えられるようになりたい。
- 「身近な問題ほど見えていない」、「見えていないのはないのと同じになる」という言葉が印象に残った。身近な問題ほど、アイデアの元になる、解決すべきである、と気づけた。広く大きくと考えるのもいいが、まずは、小さな身近なところから、引っかかりを見つけて、考えることが大事だと感じた。これからは、これを学習だけでなく様々な場面での考え方に取り入れ、生かしていきたい。
- 授業内で山梨県の良いところをあげて、東京都内に住む女子高生に売り込む（宣伝する）ものを考える、マーケティングを行いました。そこで、顧客が求める商品やサービスを作るのに多くの知識をもっておくことが大切だと実感させられました。今後は、多くの知識を持つために、新聞やニュースなどで知識を深め、歴史を勉強し、アイデアを出す際の力を身につけていきたいと思いました。

【教育学・幼児教育】『からだでコミュニケーション』

- 今の時代、たくさんの影響でコミュニケーションをとる力が衰えていることを知った。だからこそ、体を使って楽しみながらコミュニケーションをとることはとても良い経験だと感じた。これからどのような進路になるかわからないが、どの道でもコミュニケーションをとることを大切にしていきたい。
- 言葉だけでなくフィーリングや体で感情を伝えることが大切だと学びました。人に自分の感情を伝えることも、相手の感情を汲み取ることも大切なので、それを意識して過ごしていこうと思いました。
- マスクの時代になってしまった今、いかに普段自分が言語以外のコミュニケーションができていないのか気づくことが出来ました。この先どう社会が変化するかわかりませんが言語以外でも伝えられるようにしていきたいです。またこれは私の普段の部活でも同じだと思っていてどういう気持ちで聞いて欲しいのかそれは私の声以外でも通じると思い意識していきたいです。

【美術・デザイン】『イラストを使ったパッケージ商品デザイン』

- 様々な分野について興味を持ち、流行りについて知ることが大事だと思った。基礎となるデザイン力や色相の配置能力を高めるために、Illustrator や photoshop などのこれからのデザイン業に必要なアプリに触れ、使いこなせるようにしたいと思った。色相環について理解していたつもりだったが、色の組み合わせにバリエーションがあるのを初めて知った。自分で調べたり、今後絵を描く時に実際に活用してみたい。
- イラストを描くのは好きだけど、時間が短いうちにイラストでアイデアを考えるのは大変だった。イラストを使うデザインは今日の授業の中だけでなく他にもたくさんあるので、自分に合ったものを見つけられるように興味があることは調べてみたりして探していきたい。
- 将来、絵を描くことを自分の職業にしていく具体的な手段を知ったことによって、デザインを学ぶことへの興味が以前よりも増した。進路や学ぶべきことが明確になったことによって、今自分がすべきことに正面から向き合い、現実として受け入れる、覚悟とやる気が固まった。

【理学】『生命科学の健康や環境への応用』

- 今回の模擬授業では、生物学の遺伝子について学ぶことができた。私たち生物の体の仕組みを理解し、応用していくことはすごいなと感じた。講義を聞いて興味深いなと感じたから、これからも色々な分野に興味を持って、見たり聞いたり、アンテナを高くしていきたいと思う。
- 納豆などの表示に、(遺伝子組み換えでない)などの表記が載っているのを見る事があったが、それが何を意味しているのかを理解する事ができた。また、中二の自由研究で DNA について調べたので、更に詳しい説明が聞けた事が嬉しかった。このような気づいた事を日常でも自然と気づけるように頭に入れておきたい。
- 生物の様々な遺伝子を組み合わせることにより、たくさんの人を救えるかもしれないと思った。私たち人間にはまだまだ理解不能なことがあると先生は言っていました。たくさん勉強していつか新しい発見をしてみたいと思いました。

【薬学】『災害医療と薬剤師』

- 今まで薬剤師についての関心を持っていたのに全く知らない話ばかりで自分自身の将来への準備をもっとしなければいけないと気づきました。私はまだ将来についてはっきりしていない状況だからこそ、これから自分から関心を持って調べて行きたいと思いました。今回の授業で知らなかった世界を知り、自分はどうなるんだろうと考えて見る事がとても楽しいことだと気がきました。将来のこともそうですが、これからどんなことでも興味を持って調べていくようにしようと思いました。
- 薬剤師と聞くと病院や薬局で働いているイメージだったが、災害の際に DMAT として被災地に派遣したりダイヤモンドプリンセス号の時も深刻な薬不足に対応したりと様々な役割を担っていることを知った。災害医療薬学については模擬授業を受けなければ学ぶことのなかった知識なのでとても興味が湧いた。
- 表面的な部分だけでなく内面的な事も考えたり、調べたりする癖をつけ深く学習したいと思った。状況を素早く理解して、周りに伝えられるようにすることも大切だと思った。文章を書く時や伝える時は意識して取り組みたい。

【看護】『看護の創造性』

- 看護師と言われて病院で働いている看護師しか思いつかなかったのですが、他にも老人ホームで働いている看護師や、助産師として働いている看護師もいるということに気づけた。また、仕事内容も受付や、医者の方に言われて注射器などを持ってくるだけではなく、入院しなければならぬ時には入院することの必要性の説明、家族への理解を深めるなどの事も行っているということを知りました。そして看護師技術の体験では、ALS の方の最後の会話の方法などをしり、また実践したことにより ALS という病気への理解も深まったと思います。
- 看護師の仕事の間近で見たことまた体験したことがなかったので今回「看護」の模擬授業を受けて良かった。また生きている証を学んだので道端に倒れていたり家族が倒れていた時、積極的に自分から行動しその場にいる大人と協力して全力で助けようと思った。またこれは看護における知識の 1 にも満たしてないので看護大学で看護を学び看護師と保健師の資格を取得することで今以上に適切な処置ができるので日々勉強していきたい。
- 模擬授業を受けて、看護はその人らしい生き方を送れるようにケアを行うということが 1 番心に残りました。入院中でも、なるべくその人にあった生活ができるように工夫をしていると感じました。看護体験をしてみて、ただ看護をするだけでなく、自分がどうしたら相手が辛くないか、安心できるか考えながら看護をすることが大切だと思いました。